

日本中の鮎が集まる中で、 歴史的快挙！

和良鮎



V4

9月13日(金)に高知市で開催された「第22回清流めぐり利き鮎会」で、和良川の「和良鮎」がグランプリを獲得しました！

和良鮎はこれまで、第5回、第12回、第17回と3回のグランプリに輝き、今回で歴史的快挙となる4回目の受賞となりました！

清流めぐり 利き鮎会とは

全国の自慢の鮎が、河川ごとに出品され、審査の際には、河川名を伏せた状態で、審査員に塩焼きを試食してもらいます。予選と決勝の審査があり、予選では、グループに分けられた鮎を一般審査員が均等に割り振られ、各グループで試食をします。各グループで一番美味しい鮎が決勝グループへ勝ち上がり、決勝の審査は、料理研究家や専門家による食べ比べが行われ、グランプリが決定します。

今回の清流めぐり 利き鮎会について



審査は、姿形、身、ワタ、香り、総合の5項目で、和良鮎はすべてにおいて高い評価を受け、最高賞であるグランプリに選ばれました。

受賞にあたり、和良鮎が育つ和良町の自然と和良川の優れた水の恩恵であると審査員のみならず、さんより好評をいただきました。

また、和良鮎が4度にわたって日本一に選ばれた背景には、地域住民および関係団体、特に釣り人による和良川への美化に対する協力があり、きれいな川の維持が品質の高い鮎の育成につながっています。

今回の快挙を市長へ 報告されました

9月27日(金)に和良川漁業協同組合の加藤廣雄組合長と大澤克幸副組合長が、第22回清流めぐり利き鮎会で4度目のグランプリを獲得したことを日置市長に報告されました。

加藤組合長は、「和良鮎は、味や香りが他の鮎よりも断然に良い」と、清流めぐり利き鮎会関係者から高評価をもらったことへの喜びを話されました。また、「これからの和良川のため、子どもたちにもたくさん川遊びや鮎釣りをしてほしい」など、今後も和良川がみなさんに愛される川であってほしいことを願っていました。



グランプリ受賞を報告された
加藤組合長(左) 大澤副組合長(右)